

北高夢ロード通信

第3号 (2018.7)

「北高夢ロード」設立・

「アートの本棚」開設5周年

会長 岡崎新太郎

北高夢ロード実行委員会の会員の皆様。

下関北高の開校式・入学式が4月9日に行われコミュニティスクールとして地域が高校を支え、高校が地域の課題に教育面から挑戦するスタートが切られました。どのように豊北の地域が新高校と協同し支援するかは課題に対して夢ロード会員の皆様とご一緒に果敢に挑んでいきたいと存じます。

「北高夢ロード」設立・「アートの本棚」開設5周年を迎え、昨年度からの継続事業に加えて、今年度は特別事業を組んでおります。

8月18日 中・高生と考える地域づくり・異文化交流の集い「豊北を世界に、世界を世界に第1回 地球旅、そしてチュニジア」

5月22日 「ギャラリー 夢ロード」開設・元木本陶器店 年度内5回の展覧会を計画

6月～3月 「栗野川流域生態系調査と研究 下関北高との協同」

これらを確実に実現することが新高校の支援、豊北のまちづくりになります。そのための資金的な裏付けのためにも努力を傾注いたします。会員の皆様の年会費の納入に併せて、「寄付—北高夢ロード実行委員会5周年協賛金」を賜れば幸いです。ご賛同とご支援をお願いいたします。また、新会員の開拓にご協力をお願いいたします。

元木本陶器店での「ギャラリー夢ロード・藤田莞爾展」にはるばる仙台市から駆け付けてくださった小林文生先生（東北大学名誉教授）か

らいただいたレジュメ『文学アトリエ「星の王子さまとの対話」』の中の先生が訳された一文に心が留まりました。・・・「砂漠が美しいのは」と王子さまが言った、「どこかに井戸が隠されているからだよ。」ぼくは、突然この砂の不思議な輝きがわかってびっくりした。・・・北高夢ロードは豊北の「隠されている井戸」の存在を信じ働きます。

年会費（正会員・賛助会員）・「寄付—北高夢ロード実行委員会5周年協賛金」の納入方法

・ゆうちょ銀行

口座 記号番号 01350-1-106942

加入者名 北高夢ロード実行委員会

にご入金ください。同封の払込取扱票をご利用ください。ATM 使用 80 円・窓口 130 円の手数料は本会負担です。

・払込取扱票の通信欄に 会員種別 何年度分かを明記してください。

正会員 一口 1,000 円

賛助会員 一口 3,000 円以上

また寄付納入の際は「北高夢ロード実行委員会5周年協賛金」を明記してください。

会員原簿整備のため

ご送金の際に払込取扱票の通信欄に、郵便番号、住所氏名、電話番号に加えて、任意ですが、卒業年次（豊北高校卒業生の方のみ）、FAX 番号、メールアドレスを記入いただければ幸いです。改めて会員原簿の整備をいたしますのでよろしく願います。

いただいた情報は、本会の運営以外での使用はいたしません。会員にお配りする会員名簿には、個人情報保護のため氏名と会員種別、住所（市、町、地区名まで）に留めます。

「ギャラリー 夢ロード」の開設と

第1回 藤田莞爾「おしゃべりな JOMON 人：私の縄文幻夢譚」展

ギャラリーの設置まで

高校生の通学路に面して、気安く入れる展示空間を持ちたい。こうした思いは、かねてより強くあった。昨年秋、滞在中の古都富貴旅館周辺の住民のみなさんとの懇談の中から、ひとつの候補として元木本陶器店さんの店舗が現実味を帯びて浮かび上がった。下市自治会長さんのご仲介もいただき、店舗内を見せていただくことから始まり、幸い3月までにお借りする条件も整って、店舗内に置かれていた商品や展示ケースも整理していただいた。

今年度に入り、内部の整備にかかった。店舗右側の壁面は可動棚が取り除かれていたのでそのまま使用できるが、奥の壁面は固定棚であるため、その前面をベニヤ板で覆うこととした。この改装に当たっては、会員の藤岡達雄氏が、自身のお宅にあったというベニヤ板等の資材を使用して見事な展示壁面に仕立ててくれ、また、資材の運搬は、役員の古田雅士氏が汗をかくてくれた賜物である。

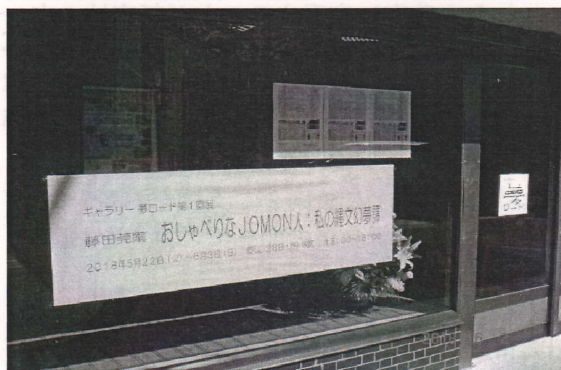
第1回 藤田莞爾「おしゃべりな JOMON 人：私の縄文幻夢譚」展

2018年5月22日(火)～6月3日(日)までの2週間、第1回として標記の展示会を開催した。藤田氏は、千葉県浦安市在住の画家・デザイナーで、これまでも2015年のワークショップ「誰でもみんなピカソ!」の企画、2016年の「G3 [爺一サン] デッサン展」出品のほか、夢ロード・ホームページ (HP) のタイトル画、夢ロード絵地図などでもお馴染みの方である。今回は、HPの「アート・ギャラリー」に掲載してきた作品群に未公開の近作を交えた33点、それにスケッチ帳、装丁作品、個展案内はがき、作品絵はがき、ポスターなど計113点を展示していただいた。出展リストは、HPに搭載しているので参照していただきたい。

切り貼りなどによる氏独自の複合的な技法「離散集合」のできるプロセスの説明などもあり、また、ガラスケース内のスケッチ帳なども手にとって見ることができ、好評だった。



藤田莞爾 おしゃべりな JOMON 人
2018年5月22日(火)～6月3日(日) 毎週 28日(月)休 1300～1800
展示内容 (色) 和紙、クレヨン、パステル、水彩、墨、コビー、切り貼りを市川市富貴旅館の古道具のふりかざり(約30点、スチールブック、墨の絵巻物など)を、作品絵はがき、装丁作品、スケッチ帳、ポスターなど計113点を展示していただく。出展リストは、HPに搭載している。また、ガラスケース内のスケッチ帳なども手にとって見る事ができ、好評だった。



藤田莞爾氏デザインによるチラシ・ポスター

ギャラリー夢ロード(元木本陶器店)店舗とポスター

5月23日 オープニングの会と 交流ギャラリー・トーク

下市通りにできた2番目の拠点として、近隣の皆様等にお披露目をすべく、5月23日(水)、オープニングの会を催した。会には家主の木本久信さん、地元下市自治会長森本文男さんをはじめ、豊北・下関北高の竹村和之校長以下の諸先生、太翔館館長なども含め30余名が見えた。自治会有志の方々から立派な生花のお祝いをいただいた(写真右上)。来場の方からのご祝儀やこの会の実質的スポンサーとなっていたき当日の会にも参加された在京の賛助会員村上正樹氏に対してもこの場を借りてお礼申し上げたい。

また、この会に先だち、北高生約20名が参加する「交流ギャラリー・トーク」がもたれ、展示概要説明の後、生徒の持参したデッサンを地元のアーティスト有田敏朗、川原一夫両氏が指導するなど、よい交流の時間となった。

.....
右側の有効壁面 4m80+70cm、奥の有効壁面 3m90cm、左側のガラス戸棚有効棚幅計 3m30cm
入口左側のスペースも有用である (写真右上)
.....



上：右側壁面の展示 下：左側ガラス戸棚の展示

今後の計画と課題

今年度は、全5回の展示を計画しており、次回第2回展は、「通学路の移り変わり」と「北高夢ロード」の5年」展(8月10日(金)～19日(日)休館日なし)を予定している。

夢ロードでは、これまで太翔館の講堂や教室をお借りして展示会を開催してきたが、通学路から離れていること、重厚な展示パネルの移動設置などに難があること、また、展示日数の少なさ、広報力の弱さなども要因となって来場者は少なかった。今回、立地、展示環境が改善され、ご記帳いただいた方だけでも150名近くにのぼった。ご記帳いただけなかった方や複数回お見えになった方を勘案すると、多くの方のご来場をいただいたと感謝している。

4月、自治会の皆さんとの懇談会でのご示唆も受けて、豊北町内各班レベルでのチラシ回覧を実施したほか、公共機関を始めとして、総数1,000枚以上のチラシを作成配布したことも、効果があったと思われる。

開場時間が午後に限られていることなどのご批評もいただいております、今後、企画内容を含め、ご要望やご意見をいただければ幸いです。

(波多野宏之 展示企画担当)



上：地元有志の方々からの生花 下：北高生の指導

総会報告

4月26日(木) 16:30-18:00

太陽館 出席正会員 11名、委任状提出 8名
で正会員 28名の過半数を満たして総会成立。
議長に恒富英雄氏を選出、議事録署名人に末
永登紀子氏を指名し議事に入る。

(1) 議案第1号 平成29年度事業報告(岡崎)

下関北高開校祝意幕決算・事業報告(恒富)

(2) 議案第2号 平成29年度決算報告(岡崎)

質疑応答

- ・下関北高定員 105名、初年度入学者 73名の
現状について意見交換し、同窓会との協同
の必要性、地元小中学校との関係づくり、
寄宿舎設置、JR列車数の問題等についての
意見表明あり。
- ・豊北町という素晴らしい場所で教育を受け
られる。移住者支援を考えたい。

監査報告(永富)

適正に処理されている。監査付帯意見とし
て事業報告・事業計画は事業別に記述すべ
し。

第1号議案 第2号議案 採決し承認

(3) 議案第3号 平成30年度事業計画案説明
(岡崎)

「ギャラリー 夢ロード」経緯と計画説明

(波多野)「北高夢ロード5周年 中・高生
と考える 地域づくり・異文化交流の集い 豊
北を世界に、世界を豊北に」説明(波多野)
「栗野川流域調査」計画説明(岡崎)

(4) 議案第4号 平成30年度予算案説明(岡
崎)

質疑応答

- ・平成30年度計画の眼目は「北高夢ロード」
設立5周年記念であることを明記する。
- ・収入の部 その他の収入 開校祝意幕残高
18,253円に修正。
- ・寄付金 説明の欄 5周年記念事業協賛と
明記。

第3号議案 第4号議案 採決し承認

(5) 議案第5号 会則改定案説明(岡崎)

第2条 会の事務所を会計担当者の住所に
変更する。

第3条 「県立豊北高等学校の通学支援・
学習支援に関する活動・・・」を「県立豊北
高等学校・県立下関北高等学校の通学支援
・学習支援に関する活動・・・」に変更。

(設立年月日)第20条 この会の設立は平
成25年8月24日とする。を追加。

質疑応答

- ・第2条改定について。既にこれまでこの
住所を公開し動いている。改めてゆうちょ
銀行滝部支店で協議する。(総会后、ゆうち
ょ銀行滝部支店と協議、変更不要判明)

第3条の改定、第20条の追加 採決の上承認

(6) 議案第6号 役員補充

会計担当役員退会につき、会計担当役員と
して末永登紀子氏に依頼し承諾を得る。

自治会の皆さんとの懇談会

4月26日 15:00~16:30、総会に先立ち、
駅前、下市自治会の皆さんとの懇談会が開催
された。駅前自治会長、下市自治会長、その
他会員非会員を含め、出席は約10名。組織と
して会員が地域の皆さんと顔合わせする初め
での貴重な機会となった。

自己紹介の後、フリーの討議を行い、社会
実験として下市の空き家・空き店舗を活用し
たフリーマーケットの開催、滝部駅舎や駅前
と下市の自治会館の活用などが話題となった。

「夢ロード」の活動はよく知られていない
ので、まずは豊北町全体の自治会について班
単位でチラシを回覧するのがよい、との具体
的な提案をいただき、5月の第1回展示会チ
ラシを総合支所経由で配布することとした。

今後とも、機会あるごとに意見交換し、通
学路の活性化に協力し合うことを確認した。

平成29年度事業報告

下関北高校の校地が豊北高校校地に決まり、新設高校のアピール支援の意図をもって事業を遂行した。

継続事業：

- ・北高文化祭「ようこそ先輩」(6.11)
- ・読書週間北高図書室展示「谷ロジローとフランスのBD」図書26冊、資料7点(10.27～11.9)
- ・『アートの本棚 通信』No.3(10.27)発行
- ・北高通学生のための貸し傘設置累計500本(通年)
- ・＜アートの本棚＞900冊に拡充(通年)
- ・WEBサイト運用「北高夢ロード」(通年)

新規事業(継続予定)：

- ・栗野川流域ホテル観察会(5.31)
- ・会報『北高夢ロード通信』第1号(7.20)第2号(2018.3.20)発行
- ・「先輩の本棚」寄贈の呼び掛けと収集 豊北図書室一般展示(11.7～21)

新規事業(今後の展開を検討)：

- ・樋口州男氏北高講演会「絵画史料の面白さ―源頼朝の顔ほか」(4.27)
- ・「通学のまちのよみがえり バック・トゥ・ザ・フューチャー」太陽館、コルトーホール52名参加(8.19～20)

地域社会での展開：

- ・豊北町持ち寄り音楽会(5.20)
- ・滝部 公民館祭り夢ロード活動報告(10.29)
- ・水仙プロジェクト検討 豊北中学(12.10)
- ・クリスマス朗読会とワークショップ 下関リーディングの会共催(12.24)

特記プロジェクト：

下関北高開校祝意幕掲示(2018.3.28～4.30)

特記事項：

「やまぐち教育応援団」認証登録 山口県教育委員会(2018.2.15)

運営のための会合：

総会 太陽館(4.26)役員会(11.8)(2018.2.7)

平成30年度事業計画

北高夢ロード実行委員会設立・「アートの本棚」開設5周年記念行事として計画する。

継続事業：

- ・栗野川流域ホテル観察会(5月)
- ・北高文化祭「ようこそ先輩」(6.10)
- ・読書週間北高図書室展示(10月)
- ・「先輩の本棚」寄贈の呼び掛けと収集 第2回展示(11月)
- ・会報3号(7.20)、4号(2019.3.20)発行
- ・北高通学生のため傘の貸出(通年)
- ・WEBサイト運用「北高夢ロード」(通年)

新規事業

①「ギャラリー 夢ロード」を元木本陶器店空き店舗を活用して展開する

- ・第1回展示 藤田莞爾「おしゃべりな JOMON 人」展(5.22～6.3) オープニングの会(5.23)
- ・第2回展示 「通学路の移り変わりと「北高夢ロード」の5年」展(8.10～19)
- ・第3回展示会(11月)
- ・第4回展示会(2019.1)
- ・第5回展示会(2019.3)

② 創立5周年 中・高生と考える地域づくり・異文化交流の集い 豊北を世界に、世界を豊北に」(8.18)太陽館

③「豊北の水研究」下関北高との協同

地域社会への働きかけ：豊北の歴史研究グループの結成

運営のための会合：総会・自治会との懇談会(4.26)役員会(11月、2019.2)

「先輩の本棚」第2年次

昨年度に引き続き、豊北高校卒業生の皆様に「先輩の本棚」へのご著作の寄贈を呼び掛けています。ご連絡は、下記をお願いします。
kitakoyumeroad@gmail.com(担当：波多野)

栗野川流域ホタル観察会(2)

5月30日(水)午後7時半に田耕五千原に集合し、オリエンテーションの後、昨年と同じく下太田の橋に移動してゲンジボタルの乱舞を観察しました。気温・湿度も高く、昨年よりも多くのホタルを観ることができました。日時・場所についての藤岡達雄氏の好判断でした。

豊北・下関北高の生徒・保護者・先生方と豊北中学校の学校運営協議会の方々の参加をいただき総勢38名の参加でした。写真家・平島正光氏による高校生へのホタル撮影法の指導は新しい試みとして好評でした。

豊北・下関北 北高文化祭

「ようこそ先輩」

6月10日(日)の北高文化祭は、下関北高として最初の文化祭であり、「創史想愛」というテーマを掲げて生徒会の意気込みを表すものでした。午前10時30分から正午まで、一教室全体を提供していただき「浜出祭の歴史学—初めてたどる迷路の楽しみ」と題して昭和39年卒の歴史家樋口州男氏から送付していただいた浜出祭とモンゴル襲来に関する書籍・論文を中心とした32点の展示を行い、歴史をたどる楽しみを岡崎が語らせていただきました。北高3年川部那萌さんの浜出祭フォトレポート50点の展示もいただき、25名の方々の来場をいただきました。



岡崎会長 窓には川部那萌さん撮影写真を展示

下関北高等学校開校祝意幕経過

昨年末、波多野副会長より「下関北高校開校祝意」の打診があり、アーチバルンと横断幕を広告会社で見積もり検討した結果、横断幕相場 m^2 11,000 円のため当初は小型2 m^2 程度税込み23,000 円3枚を予定した。しかしながら、募金結果は豊北高校同窓会、同関東支部、市役所北高会、豊北町自治会連合会、滝部地区自治会連合会、夢ロード実行委員会と283,000 円となる。サンデン広告には261,360 円支払い、残金は夢ロードの活動費として繰り入れた。特に大口寄付の同窓会の意向をいれ、下関市豊北総合支所に約8 m^2 の懸垂幕を揚げる他、4月1日には7年毎に举行された「浜出祭」の行列通路や滝部駅とプラットホーム、下市交差点、北高正門、豊田町殿居小学校は結構人目を引き、高校と新入生に祝意を伝えた。

祝意幕は来年も使えるよう文字を変え、同窓会を通じて豊北高校に保管しており、今後の管理運営は体力のある同窓会を中心に行うようお願いし、田中会長の了解を得て一安心している。(恒富英雄 副会長)



豊北総合支所前にて

時空を越えて、つながる

小林文生

5月末、思い立って仙台空港から福岡空港へ飛び、新下関駅前からレンタカーで滝部へと向かった。波多野宏之氏からお知らせをいただき、ギャラリー夢ロードで開催されていた藤田莞爾展「おしゃべりな JOMON 人：私の縄文幻夢譚」を見るためだ。

空き店舗の内部を改装して展示室に仕立て上げたギャラリー夢ロードに、一步入った瞬間から、何とも懐かしい雰囲気に包まれた。昔ながらのお店の造りと、展示のために木材を張り巡らせた壁面、そしてそこに並ぶ藤田作品が、実に見事に調和している。作品たちが最適の場を得て喜んでいる。藤田氏のあのいたづらっぽい笑顔が見えるような気がした。

展示されている作品のテーマは、そのタイトルにあるとおり「縄文」であり「夢幻譚」である。その心は、それぞれの絵に添えられている「題」と「譚」と「作者」に示される。例えば「題：縄文の朝」では、「譚」として会話が並んでいる。いわく、「やはり縄文の朝はいい。こんなにうれしくなる朝は平成には無かったね」「無かった、無かった」「あれは嘘の世界。だから朝も嘘。嘘の夜。〔後略〕」、その「作者」は「縄文のボク」である。この会話の鍵は「平成には無かった」という過去形だろう。縄文に戻ってきた「ボク」が、平成を回顧しているというSF的な時間遡行。これを納得させるのは、この展覧会の表紙ともいべき作品「縄文のボクと平成の私」だ。展示されている作品は皆、いわば表裏一体をなす「縄文のボク」と「平成の私」による対話から成り立っているようだ。

この展示に囲まれたギャラリーで、波多野氏のはからいにより、何人かの皆さんとともにサン＝テグジュペリの『星の王子さま』についてお話しする機会があった。学生時代に

フランス語で読んで以来、その後も数えきれないほど繰り返して読んできたのだが、今回、話しているうちに大発見をして驚いた。それは、『星の王子さま』の登場人物である「王子さま」と、語り手でもある飛行士「私」の関係が、藤田氏の描く「縄文のボク」と「平成の私」の関係に重なり合うということだ。現実には違和感を抱いている「平成の私」／飛行士「私」に対して、「縄文のボク」／「王子さま」は、その「私」の気持ちを受けとめつつ、自由自在に「絵を描く」という行為を共有することによって、「私」を癒やしてくれる。ギャラリーは、まさに藤田莞爾とサン＝テグジュペリが響き合う空間となっているように思われた。土井ヶ浜遺跡の弥生人を横目に縄文にまで遡行した「ボク」が、滝部で今を生きる平成の私たちへと、日本とフランスをまたぎ、時空を越えてつながっている。波多野氏も藤田氏も、私の亡き父を介したご縁なので、この発見は父の導きだったのかもしれない。

藤田作品の大ファンとして即断即決、滝部に向かったのだったが、波多野氏には展覧会にとどまらず、下市通りから始まって、豊北歴史民俗資料館、土井ヶ浜人類学ミュージアム等、さらに角島までご案内いただき、また高校生のためのホテル観察会にもご一緒する機会を得て、豊北の豊かな自然と文化、そしてふるさとの誇りのもとに集う人々のつながりに強い感銘を受けた。波多野氏はもとより、北高夢ロード実行委員会の岡崎新太郎会長をはじめとする多くの皆様と親しくお話しできて、その歓待に満ちた心豊かな時間を過ごさせていただいたことに感謝申し上げます。最後に北高夢ロードの今後の活動に向けて、私からエール代わりの一首を。

北高の生徒ら集いフランスへ心旅する
アートの本棚

(東北大学名誉教授)

「北高夢ロード」5周年 中・高生と考える
地域づくり・異文化交流の集い

豊北を世界に、世界を豊北に

第1回 世界旅、そしてチュニジア

主催：北高夢ロード実行委員会

協力：山口県立豊北・下関北高等学校、
下関市立豊北中学校

後援：山口県国際交流協会

会場：下関市滝部公民館（太陽館）

日時：2018年8月18日（土）

午前10時～午後5時

プログラム

10:00-10:15 開催趣旨

岡崎 新太郎（北高夢ロード実行委員会会長
元梅光学院学院長）

10:15-11:30 基調講演

西野 旅峰（にしの りょお 山口県油谷青
少年自然の家指導主任）

旅という火と旅からの風ー自転車地球散歩
よりー夢と世界と僕らの話

11:30-12:00 クエスチョンタイム

12:00-13:30 昼食

チュニジア料理体験

指導 飯野ベスマ（チュニジアクラブ横浜
代表 東京農業大学非常勤講師）

13:30-14:00

波多野宏之（（公財）放送番組センター理事、
元国立西洋美術館主任研究官）

異文化との出会いから生まれた名画ー西洋
美術の場合ー

14:00-14:30

豊北高校留学経験者または英語部の生徒
外国で学んで気づいたこと（仮題）

14:30-15:00

飯野修身（ビジネス翻訳業）

異文化交流の試み：チュニジアと日本

15:00-15:30

（休憩） チュニジアのダンスと音楽
（飯野修身・飯野ベスマ）

15:30-16:00

竹村和之（山口県立豊北・下関北高等学校
校長）

高校教育と地域創生・異文化交流（仮題）

16:00-17:00 ディスカッション

豊北を世界に、世界を豊北に

入場料：チュニジア料理体験（昼食）材料
実費500円（ただし、児童生徒は無料）

お申し込み：8月15日（水）までに
kitakoyumeroad@gmail.com または

080-5230-6032（岡崎）へ

要申し込み（先着70名）

同時開催

ギャラリー夢ロード 第2回

通学路の移り変わりと「北高夢ロード」
の5年展

会場：ギャラリー 夢ロード（元木本陶器店）

会期：2018年8月10日（金）～19日（日）

会期中休館なし 時間 13:00～18:00

入場無料

北高夢ロード通信 第3号（年2回刊）

2018年7月20日発行

編集：会報編集委員会

（波多野・古田・村上・戸田）

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511

山口県下関市豊北町滝部 856-9

Tel: 083-252-6032

ホームページ：http://yumeroad.org

E-mail: kitakoyumeroad@gmail.com